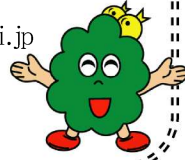


笑顔

熊本市高齢者支援センター ささえりあ帯山
 熊本市中央区保田窪1丁目 1-33 第2大田ビル1階
 第21号 電話:096-241-0230 FAX:096-241-0232
 E-mail:sasaeriaobiya@kyouninkai.jp
 平成24年10月 http://www.kyouninkai.jp/obiya /



新任運営委員さんの御紹介

ささえりあ帯山の地域運営協議会の委員に3名の方が加わって頂きました！

帯山校区 社会福祉協議会 会長

浅田 興司 氏



政令指定都市に変わり「ささえりあ帯山」様にお世話になる事になりました。帯山校区も高齢化が進み認知症地域推進員配置等、積極的に取り組んでおられるセンターと共に活動出来るのは心強い限りです。高齢者の皆様が生き生きと楽しく暮せる町づくりを目指していますのでよろしくお願い致します。

帯山校区 民生委員児童委員協議会 副会長

米満 美恵子 氏

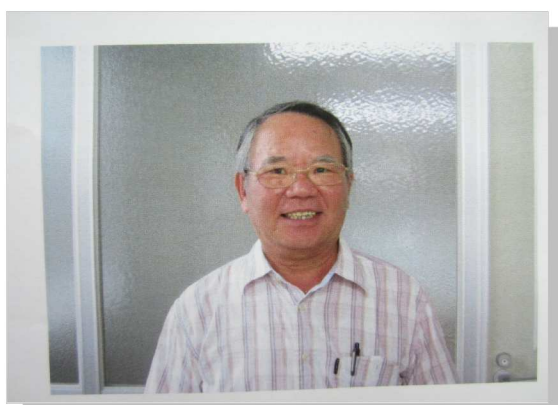
この度、託麻原・帯山西と一緒のグループになり、皆さんと活動できる事を嬉しく思います。地域包括については更に学習し、色々な課題に向き合っていかなければならないと思います。今後ともよろしくお願い致します。



託麻原校区 社会福祉協議会 副会長

林田 國夫 氏

地域福祉の充実に、少しでもお役に立てればと思っております。託麻原校区では、地域支え合いネットワークの構築に向けて、各種団体と協働で取り組んでいます。今後ともよろしくお願い致します。



「家族介護者教室」開催中！



興味のある方は是非、ご利用されてみてはいかがでしょうか！
 ※旅のよろこび株式会社さんでは国内・国外問わず旅のサポートをされているようです。

第二回目は、七月二十日に託麻原コミュニティセンターにて「旅をあきらめないで」行く所から行きたい所へくをテーマに、旅のよろこび株式会社の宮川和夫氏を招き、お話を頂きました。年齢を重ねると旅行など諦めてしまう方が多いと思いますが、いくつになっても旅行やイベントへの参加ができるよう、サポート体制が整いつつあるそうです。家族や友人と同じ旅を共有すると、大切な思い出がまた一つ増えます。

▼TVで放送された時の様子です！



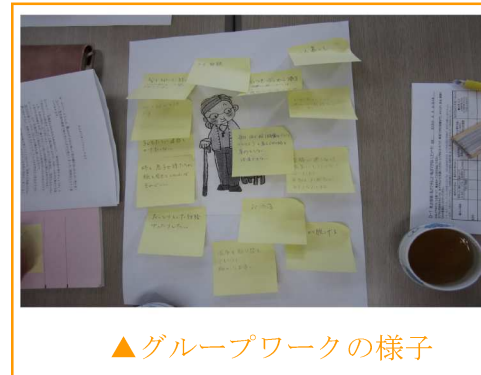
中央6 居宅・包括連絡会議

…二ヶ月に一回開催中…

八月十七日に、「認知症センター方式とは」をテーマに勉強会を開催しました。認知症のためのケアマネジメントセンター方式とは・・・本人と家族の状態や意向を、医療やケア関係者にうまく伝え、これからの暮らしをよりよいものにしていく具体策を、一緒に考えていく為に作られた方法です。勉強会には、約三十名の参加があり、共通のシートを使いグループワークを通して学びを深めました。本人を中心とした視点で、課題になっていることが整理でき、とても分かりやすく活用しやすいツール（道具）でした。



▲発表の様子



▲グループワークの様子

随兵の歓声も遠くなり、すっかり秋めいてまいりました。朝晩は冷え込みが感じられる程で、我が家でも二匹の飼犬が冬毛に生え変わり、季節の移ろいを抜け毛の掃除をしながら実感している毎日です。

ささえりあ帯山も保田窪に事務所を構え早くも半年が過ぎました。皆様からの更なる御信頼をいただけるよう、職員一同日々努力精進して参りますので、より多くご愛顧のほどをお願いいたします。



小島 康江

★編集後記★

認知症の家族を支える

公益社団法人 認知症の人と家族の会 熊本県支部の富岡大高氏をお招きし、東水前寺公民館で介護する人の思いや現状、会の活動内容についてお話を頂きました。昔はおじいちゃん、おばあちゃんと孫が一緒に生活する三世同居が当たり前でしたが、今では核家族化が進み、介護をする人側の立場も変わってきました。現在では、配偶者が介護する割合が約二十五%と一番多く、四人に一人が「老老介護」となっており、主な介護者の三割が男性です。「自分がしっかりしないといけない。一人で何でも

「しないといけない」など、周りに相談できない男性介護者も多いようです。介護をしている家族自身も「ケア」が必要です。同会では、介護をしている者同士のつどいや、介護をしている男性限定のつどいも開催されています。また、「ほっとコール」として認知症の相談コールもされていますので、悩まれた時にはご利用されてみてはいかがでしょうか。

*つどい(交流集会)と『認知症ほっとコール』のお問い合わせ先：096-355-1755



認知症を知る

認知症キッズサポーター養成講座 in 託麻原小学校

9月27日(木)の5・6時限目に、託麻原小学校六年生 100名あまりを対象に、認知症キッズサポーター養成講座を開催致しました。

託麻原小学校での開催は今回で2回目です。内容は、前回と同様に5時限目で講義を行い、6時限目にグループワークを行いました。民生委員さんや熊本学園大学の学生さん達に協力して頂き、子ども達からもたくさんのパワーをもらいました。

10月26日(金)には、帯山西小学校で認知症キッズサポーター養成講座を開催予定です。今後もささえりあ帯山圏域でたくさんの認知症サポーターの養成を行っていきますので、何卒宜しくお願い致します。



▲みんなで..はい!チーズ!!



▲グループワークの様子



▲ミニ寸劇中!

中央6圏域における「認知症」に対する取組み



認知症を知る



去る六月二十七日、帯山西七町内老人会で、認知症サポーター養成講座を開催致しました。当日は雨天の中、多くの地域の方々に参加して頂きました。初めに、認知症についての講話を当スタッフの牛島が行い、認知症について〇・×で皆さんに答えて頂きながら分かりやすく解説をしていきました。歌・漢字・文字の色を使ったクイズを取り入れたり、誰でも楽しめる内容となっており、参加して頂いた皆さんからは笑顔がみられました。

また、脳トレーニングとして頭の体操も行いました。スタッフの切通が、手指を使った頭の体操をいくつか紹介しました。一見簡単に出来そうな指の体操が、やってみると意外と難しい事を実感して頂けたと思います。クイズや指の運動など、難しい・出来ない事をしようとしている時にこそ、頭はよく働きます。自宅で出来る、脳のリハビリテーションの一つとして取り組んで頂けたら良いかと思えます。



認知症サポーター養成講座

認知症を見守る

見守り拠点づくりのための地域のサロン紹介!

今回は、各校区で行われているサロンの特色についてご紹介したいと思います。



帯山西校区では校区単位で年間の予定を出されて行われています。

校区サロン

各サロンともに言えるのは参加されている皆さん、顔なじみの方と笑顔で過ごされていることです。



託麻原校区は町内単位の少人数で行われる身近なサロンです。

町内サロン



帯山校区では、ここ最近隣保組単位で行われているところもあります。

隣保組サロン